

次なる舞台は、関東から全国に…

常スポ新聞

袁和監督涙の初優勝

男女完全優勝

Road to Shiga!
2021-12-19(SUN)
全国中学校駅伝大会

快晴の元、柏の葉運動公園で十一月六日(土)に行われた千葉県中学校駅伝競走大会で常盤平中学校駅伝部男女がアベック優勝を飾った。袁和監督就任六年目での快挙で監督は優勝インタビューで声を詰まらせ目には光る物があった。最初のレースは女子で二年生エースの岩永さんがエース区間の一区をライバル校との想定内のタイム差で襷を繋ぐと二区の堀



さんが三位に順位を上げ、三区の松島さん、四区の吉田さんが堅実な走りで見事首位と十三秒差でアンカーの渡辺さんに襷をつないだ。渡辺さんは冷静な走りでもトップに並ぶと勝負所で一気にスパートをかけゴールを満面の笑みで駆け抜けた。女子の優勝も躍動。一区の波多野君は首位と五秒差で襷を繋ぎ、二区のエース和久井君は区間賞の素晴らしい走りで見事に躍り出て三区のスピードランナー本谷君、四区の河田君と優勝を手繰り寄せる走りを見せ五区の下君に繋いだ。レースプラン通りの堅実な走りで見事に三秒差を保ったまま、最終六区の川越君に『夢の実現』を託した。強豪校の白山中のア

区間賞 男女で三区間

ンカーとラスト一キロからの一騎打ちとなり、トラック勝負にまで纏れ込み最後は振り切り一秒差で両手を上げてゴールテープを切り悲願の初優勝を勝ち取った。今回のレースは、『俺たちは強い』をモットーに怯まず前に出る男女全区間での積極的な走りが他校を圧倒し男女W優勝の快挙に繋がった。また、県大会では後半区間での接戦を予想して、市内駅伝から大幅に区間配置を変えてレースに臨んだ袁和監督の冷静な采配がひと際輝きを放った。次なる舞台の関東駅伝での健闘を祈る…。

有終の美 絆は続く

千葉県駅伝男女アベック優勝、常中史上に燦然と輝く歴史的な一ページを見届けて、これまでチームを引っ張ってきた三年生女子三名が常中の黄色いユニホームを脱ぐ…。堀真緒さん、浅井楓花さん、宗像世奈さんの三人で仲間の快走を最後まで立派にサポートしこの快挙に繋がった。陸上競技は個人スポーツと思われがちであるが、決してそうではなく日々の練習で自分の限界に挑戦する時、一人では時には弱気になったり心が折れそうに成ったりもする。そんな時一緒に走っているチームメイトがいれば、『負けるもんか、私も頑張る』と言って自分を高めチーム力向上に繋がる。この三人は、常にチームの事を気に掛けその中心にいた。三年間お疲れ様、そしてありがとう。三人の思いを受けてもう一人の三年生吉田葉澄さんは全国を目指す…。

2021年(令和3年)
11月6日
土曜日
常スポ新聞
第7号

関東駅伝
栃木県那須塩原
12月5日(日)

男女揃っての優勝、本当に夢のようです。常中と松戸の歴史を塗り替える素晴らしい快挙です。千葉県一仲が良く、千葉県一笑顔が似合い、千葉県一速くて強いチーム。まさに『君たちは強い』の一言です。大会前の時間が無い中、練習

袁和監督の好評

後にチーム全員分のお守りを作ってくれた生徒や、大会当日に差し入れた思いが選手に繋がり優勝することを持ってきた生徒、こう言うて最後の最後まで力を出し切れる様に頑張りました。

